

## 事業実施計画書に対する審査基準

事業実施者から提出された事業実施計画書については、下記の審査基準に基づき、評価する。  
 下表に基づき、事業実施計画書ごとに評価・ポイント付けし、ポイントの合計値の高い事業実施計画書から採択優先順位を定め、予算の範囲内で補助金交付候補者を選定する。

- 1 必須項目において一つでも要件を満たしていない場合は、補助金交付候補者として選定しない。
- 2 ポイントの合計値が同じ場合には、補助金額が低い事業実施計画書を上位として順位を定める。

## ◆ 必須項目

審査項目	内容	評価点
(1) 書類内容・企業の適正性		
① 応募要件に満たしているか	実施要領3(1)～(3)の要件を満たしているか/補助上限・下限を満たしているか	満たしていない： 不採択
② 申請事業者にとって、新商品であるか	単なる既存商品のリニューアルではないか	満たしていない： 不採択
③ 企業として適正性があるか	反社会的でなく、財務状況も大きな問題がない	満たしていない： 不採択

## ◆ 評価項目

審査項目	内容	評価点
(1) 事業実施計画の妥当性		
① 事業目的や課題を的確に捉えているか	目的・課題設計が不明瞭である	1
	目的・課題設計が明瞭である	3
	目的・課題設計が明確であり、論理的に組み立てられている	5
② 米の新たな需要拡大が期待できる取組内容であるか	米の新たな需要拡大が期待できない	1
	米の新たな需要拡大が期待できる	3
	米の新たな需要拡大が非常に期待できる	5
③ 事業スケジュールは明確かつ適正か	不明瞭なスケジュールであり、事業の実施が期待できない	1
	事業の実施が期待できるスケジュールである	3
	確実な事業の実施が期待できるスケジュールである	5
④ 米を利用した既存の商品に対する新規性の有無	市場における新規性はなく、新規需要の創出が見込めない	1.5
	類似商品はあるものの、ある程度新規需要の創出が見込める	4.5
	市場における新規性が高く、新規需要の創出が見込める	7.5
⑤ 販売力のある商品であるか	商品の魅力が不足しており、継続的な販売が見込めない	1
	商品の魅力がある程度あり、継続的な販売が一定程度見込める	3
	商品の魅力があり、継続的な販売が十分に見込める	5
(2) 経費の適正性		
① 経費項目と事業実施計画に整合性はあるか	事業の内容が反映されていない経費項目となっている	1.5
	事業の内容が反映された経費項目となっている	4.5
	事業の内容が詳細に反映された経費項目となっている	7.5
③ 経費項目及び積算は妥当であるか	申請経費の妥当性がない	1.5
	申請経費の妥当性はあるが、内容の精査が必要である	4.5
	申請経費の妥当性は十分にある	7.5
(3) 事業実施体制の適正性		
① 事業を実施するための体制が組まれているか	事業遂行に必要な人員及び体制が整っていない	1
	事業遂行に必要な人員及び体制が整っている	3
	事業遂行に必要な人員及び体制が十分に整っている	5
② 商品開発の実績や能力を有しているか	事業者として必要な実績や能力を示す根拠がない	1
	事業者として必要な実績や能力を示す根拠がある	3
	事業者として十分な実績や能力を示す根拠がある	5
③ 販路拡大を通じて、米の需要拡大に寄与するか	商品開発後、販路の確保や拡大が見込めない	1
	商品開発後、販路の確保や拡大が見込める	3
	商品開発後、安定的な販路の確保や拡大が十分に見込める	5
(4) 事業の効果		
① 申請金額に対する成果目標（使用量）は適切か	成果目標が過大かつ過少ではなく適切に設定されている。	1.5～7.5
② 申請金額に対する成果目標（販売額）は適切か	補助金額に対して費用対効果が見込める数値に設定されている。	0～7.5